

朧
夜
恋
語



成人
向



龍
夜
恋
語

こんにちは始めて。氷結蜜柑の長谷川ユキノと申します

朧村正本です。百姫ラブです

百姫も、陣九朗入り百姫も共に好き好きです

そんな思いを込めて、描いてみました

ちよつと色々捏造設定がありますが、細かい所は気にせずに

読んでいただければ嬉しいです

それではどうぞー

注・漫画中百姫はパンツを着用してます

ふんどしとかの方が良いのかなあ…とも

思ったのですが、

ミニの着物からふんどしの前垂れが

見えちゃうので、それも変かなあ…と

悶々しまして……笑

お姫様なので、

西洋パンツとか入手出来たんだよ、

と思ってもことにいたしました

山城

お…誰もおらぬな

よしよし、ひとつ
骨休みとするか

カ
ラ
カ
ラ

ちょ〜ん

なんと…!
酒があるでは
ないか♡♡♡

陣九朗…!!

うっどり

五臓六腑に
染み渡る
この味わい

酒は百薬の
長とはよく
言ったものよ

かあ〜

酒は駄目だと
あれ程
言うたのにつっ

あああああ
陣九朗おおっ

身体の疲れが
癒される
ようじゃ

聞け!
陣九朗!!!



このようないかがわしい場所では休まずとも良いではないか...



おのれ陣九朗... 妾の身体で好き放題...

百歩譲って酒には目をつむるとして...



キレキレ

酔

黙れ、百姫場所など細かいことを気にしおって

いかがわしいと申すが、座敷に酒と至れりつくせりではないか



陣九朗めええ！地獄の業火に叩き落とされるが良い！

ん？！



寒村のひなびた茶屋などよりよほど休まる

フン：
どうせ直ぐに
戻ってくる
じゃろう

まったく：
儂も面倒くさい
女子に
憑いたものじゃ


百姫め
何が気に食わんのか
カリカリしおって

…柳生の子倅の
許婚だったか…

…フン
あの小僧に
似合いの姫じゃ
二言目には
雪之丞、雪之丞
言いおって

見られるのは
嫌じゃ!!

まだ雪乃丞様にも
見せておらぬ肌



もともとは
雪乃丞めに憑く
つもりであった
のだから

この身体は僕の
ものであった
ようなもの…



あ…
意外と
大きいぞ…




袖裏
ばが
おる
はあ
はあ
はあ
ばい



ニ
タ
マ

常々、一度、女人の
快樂とやらを
味わってみた
かったのよ



良い機会じゃ
少し遊んで
みるか

ふふふふ



ノ
ラ
ッ
ッ



...っあ...

びくっ
びくっ

きこゆっ

はっ

んん...

は...あっ

んん...

びく...

っ...っあ...!!

んん...

あ...あっ!!



毒の身体で
何をしようか

ズン
ズン



…げう…
…百姫…

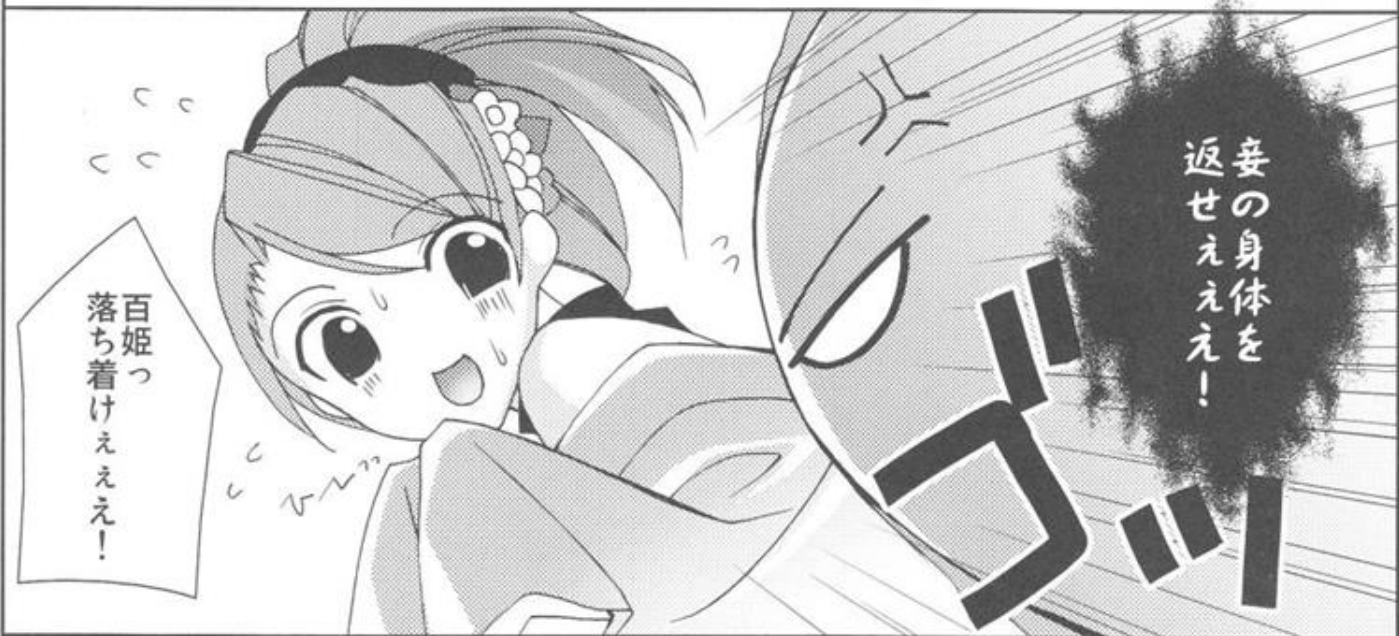
フルフルフル

コキコキ

陣九朗…
今回ばかりは
妾の堪忍袋の
緒も切れよう!!

飛び出してはみた
ものの、自分の身体
が心配になって
戻ってきてみれば…

よりもよって
こ…こ…こ…この
ようになっ



妾の身体を
返せえええ!

百姫っ
落ち着けえええ!



…陣九郎…
おぬし、妾の身体に
一体何をした…

何やら
身体がうずいて
たまらぬ…
この感覚は
なんじや…



それは…だな…

もしや
初めか…

…どうかなさい
ましたか…
旦那様

何やらお困りの
ご様子…

お役に立てる事が
ございましたら
存分に…

む…紺菊か…

どろんっ



それは酒の
せいではないぞ
……百姫



酒にこのような
作用があるとは

二日酔いの
頭痛ともまた
違う……うう



僕の声を聞き
忘れたか？

だっ誰じゃ!!!

……まさかっ
陣九郎!?

どういふことじゃ!?
本物の陣九朗なのか?

その身体のおずき、
辛かろう
儂が楽にしてやる

グイ
グイ

キゅっ!

ビクッ

っひゃう!!
や...やめ.....っ

しとどに濡れおって
小娘とばかり
思っておったが、
いやらしい身体では
ないか

ぬゅん

痛いようにはせぬ...
安心して
身を任せるが良い

やめ...っ...!!
ああ...あっ...
そのような場所っ

トチャ
トチャ
トチャ

びあ
あ! ビクッ

じゅる
じゅる
トチャ

...ああ...っやああーっ



陣九朗の舌が…
かかる息が熱い…

あ…っ

は…っ

く…っ

や…やめ…
陣…九朗…

あ…っ♡

ひう…っ



…ふん…
身体は素直
ではないか
じゃや馬姫

なっ…何を…
して…っあ!

身体に力が
入らぬ…

は…っ

あ…っう

嫌なはずじゃのに…
身体中が熱くて
…疼く…

知れたことよ…百姫
互いに気持ちよく
なろうではないか

んんっ!!

きゅん

後生じや
陣九朗…っ!!!

は…っ

雪乃丞か…

イラッ

アっ…!!

…ふんっ

イライラッ

っあくっ!!

ひあ…っ

っん…!!

んんっ…

は…っ

あの若造にそこまで
義理立てするとは
ご苦労なことじゃな
百姫

あっ…っう

くちゅ

くちゅ

ああっ…も…もう
堪忍…してっ…
あの方に…っ
…合わせる…顔が…っ!!!

あっ…やめっ…っ!!!

んんっ!!

くちゅ

ビクッ

どのみち、そなたは
悪霊付きの姫…
万一元に戻れたとしても、
柳生の一族が以前と同じく
受け入れるとは思えんが…

!!!

ツ…イツ…あ!!

ひあ…っ

は…っ

あの若造に義理立て
したところで
報われることは
あるまい…?

おっおっおっ

おっおっ

あ…っ

っあ…!!!

ん…!!!

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

ああ…あああ!!!

あ…っ

観念して、
大人しく身を
任せるが良い
百姫

あ

は



いやじゃ...っあ!
止めてえ...陣九朗っ

あ...っ

淫らに喚いて
いながら
何を申すか
...百姫...

は...
...ヤ...ッ
...違う...っ!!



陣九朗の悪党め...っ

んんっ!!

ああ!!

...つまらぬ男に
義理立てなどせず

快楽に身を
委ねい...百姫

このままでは...
駄目じゃと
分かっておるのに...



とても初めてとは思えぬ、濡れっぶりよ...
とんだ淫乱じゃな

は...っ

や...やめ...っ
おかしく...なって...あつ

ひあ...っ!!

あ...っ♡



そ…そういうっ
問題ではっ…
ああっ…!!

つながらる部分が
痺れて…

ああ…あああ!!!

しゅっ しゅっ しゅっ
しゅっ しゅっ しゅっ
しゅっ しゅっ しゅっ



まっ…
待つ…
待て!

気持ち…

ガクガク

やっ…
そんな激し…
すぎ…あっ!!!

良い…っ!!



あ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

申し訳ありませんね……
雪乃丞様……
身体を盗られた
ばかりか、
妾の貞操まで
この悪党に……



ええい!
いつまでも愚痴愚痴と
泣きおって!!!

そもそも、僕は
雪乃丞に憑く予定で
あったのだから、
どのみち、僕に
犯られていたのは
変わらぬではないか!!

見た目が違った
だけの話じゃった
鬱陶しい!!!



あれは明神様の
お力でございます

私も狐が人の姿と
なる時に使う妙薬を
ちよいちよいと
いじるのでございます

乱用いたしますると
魂に害があります故……
たまにだけご調達
いたしております

ラステ♡



……そもそも、
紺菊と陣九郎は
恋仲ではないのか?
あのような行為は
手助けする必要は
あるまい!?

旦那様が望まれ
ますれば、この紺菊……
どのようなことでも
いたします

何や
向壁でモ?

陣九郎……
お主、そもそも
どうやって
人間の身体に
戻ったのじゃ!?
お主が人間に
戻れるのであれば
そもそも、
魔剣探しの
意味もなかるう!!



朧 夜 恋 語

注・漫画内の紺菊の言ってることは私のまったくの捏造設定です

朧村正EDで微妙なくっつきかたをしちゃったので、

生身陣九朗ともラブラブしときなよ!

ってことで描いてみました。

陣九朗、もつと若いのかと思っていたのですが、

結構、おっさんでびっくりしました。笑

朧村正EDでの感じといい、

IN百姫の時の自分勝手ぶりといい、

百姫と会う前の悪行といい、

たいぶ悪人なんですが、

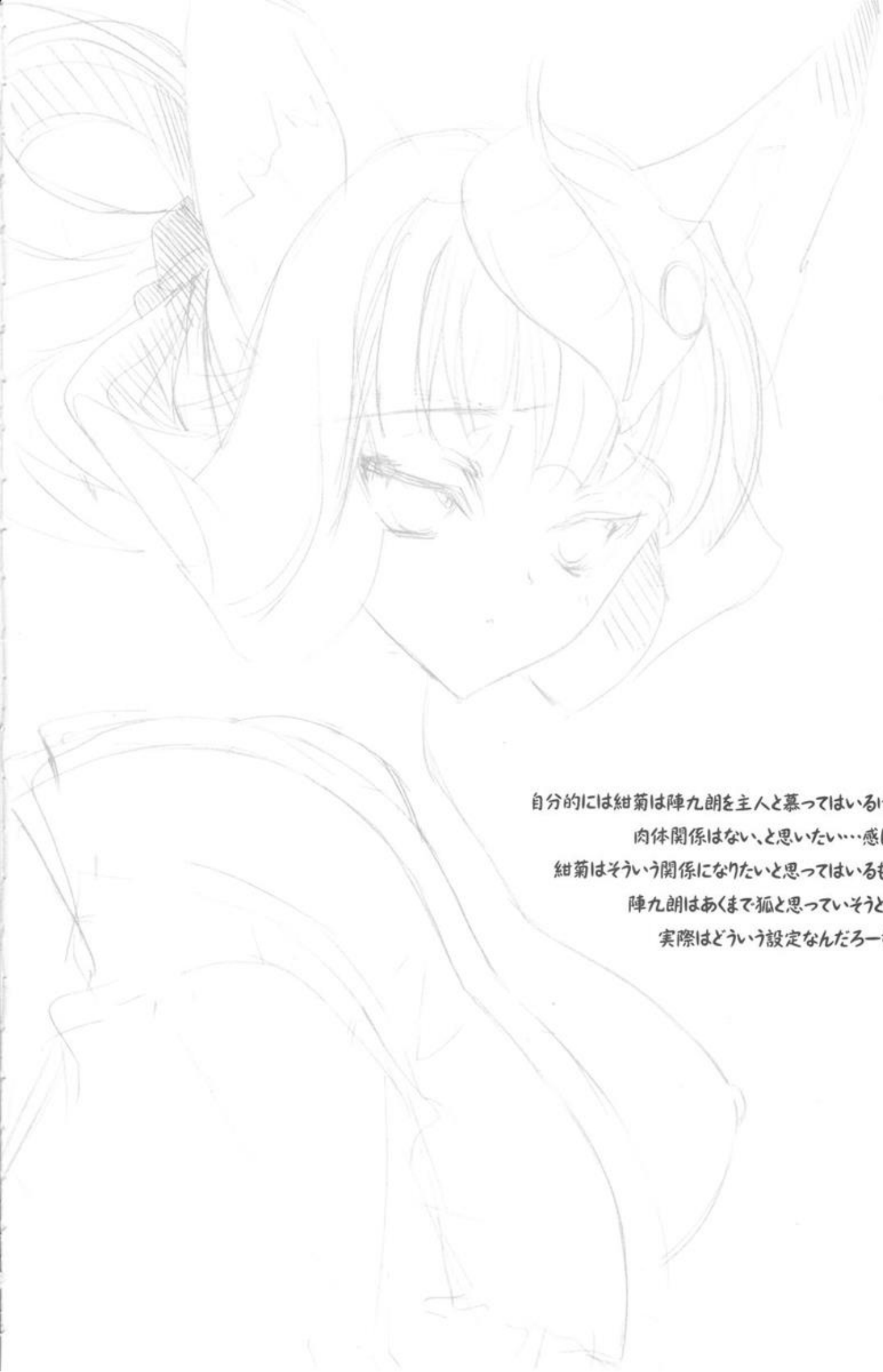
なんか憎めないお人だ。

百姫との最初の方の会話で


相手に選択肢をあげてるような口ぶりで、

すごい脅しをかけてたりしたところが、笑えました

いいキャラだ



自分的には紺菊は陣九朗を主人と慕ってはいるけれど、
肉体関係はない、と思いたい…感じます。
紺菊はそういう関係になりたいと思っはいるものの、
陣九朗はあくまで狐と思っはいるそうとか
実際はどういう設定なんだろうーなあ…



このお方はちょっと怖かったです
鬼助、騙される!逃げて…と、最初の会話で思いました。笑
どっかで絶対、裏の顔が出るぞーと思ってたんですが、
出ませんでしたね
温泉に出て来た時も、なんか凄いと言うかなと思ってたんですが
いたって普通で…笑
紺菊と陣九郎が濃い関係だったので、
なんかちょっと案内役としては物足りなさが…あったかなあ…
見た目は好きですけども

臆
夜
恋
語

フウ...

夢心地の
いいお湯じゃ...♡

きつとこれは
夢であろう

お主の望む
事あらば
自由に致せ

夢なら何も
不思議は無い

...虎姫

...そんなんじゃ
ねえんだ

...鬼助

...俺は...

ギギ...

フフ...





駄目だ…っ
虎姫っ

くうっ…あつ
でっ…
出ちまうっ!

…んぐっ
ん…鬼助…

うあつ

ん…っあ



…フフ

たくさん
出してしまった
ようじゃな
鬼助…

だのに
まだこは
カチカチじゃ…

次は妾の
番じゃ…

鬼助…

にゃはあ

来ておくれ

そんな風に
されたら
我慢なんて
できやしねえっ

…虎姫っ

ずちゅん

ふあああっ…っ

あうっ
深あいっっ

ああっ…

あっ

あうっ

ひあっ
ああ…っ

中に入っ…

ひううっ…っ

ああっ

……っ…!!

ふあーっ…ああっ

おん

っーああ

あああーっ…っ!!

鬼助っ
う…ああ



鬼助…

その

迷惑であつたろうか…

決して報酬の代わりなどでは…

虎姫



…俺は

虎姫が
幸せなら

それでいい

…鬼助…



もし来世でまた
巡り会えたなら…

では、
参ろうか
鬼助

朧 夜 恋 語

本当は裏表紙は虎姫に
したかったんですが、
時間的都合により断念…
ってわけで、そのラフです→

おまけで描いてみました
温泉のシーンでそういうことになったら、的な
ページ数をたくさん描くつもりがなかったので、
ちよつと説明不足感というか、やってるだけですけども…
この二人はあまりハッピーエンドルートが無くて、
ちよつと可哀想かなというか、
朧村正EDは、あまりにも予想外でちよつと呆気にとられました
あれ、ハッピーエンドじゃないじゃん…っていう

■前作のオーデインスフィアが神がかったような素晴らしい作品だったので、どうしてもちよつと見劣りしちゃうというか、

正直、少し盛り上がりがないかな…と思っちゃったんですが、それでも、とても楽しいゲームでした。

籠屋とか船がもつと使い勝手が良かったら良かったなあ…っていうのと、あと、やっぱり、植物育てたかったよー！

あと鳥も育てて肉にして食べたかった！笑

■今回も死後の世界が身近にあつて、

独特のおどろおどろしさと、神々しい感じがたまらなく素敵な世界観でした。

あと、やっぱり背景綺麗なゲームだ！

お城の屏風のところとか、お寺の後光が射した座敷とか、上げたらきりがないうか、全部素敵だったんですが、

新しいステージに行く度に、背景見てハアアしていました。笑
滝とか花街も良かったなあ（廃墟も素敵だった

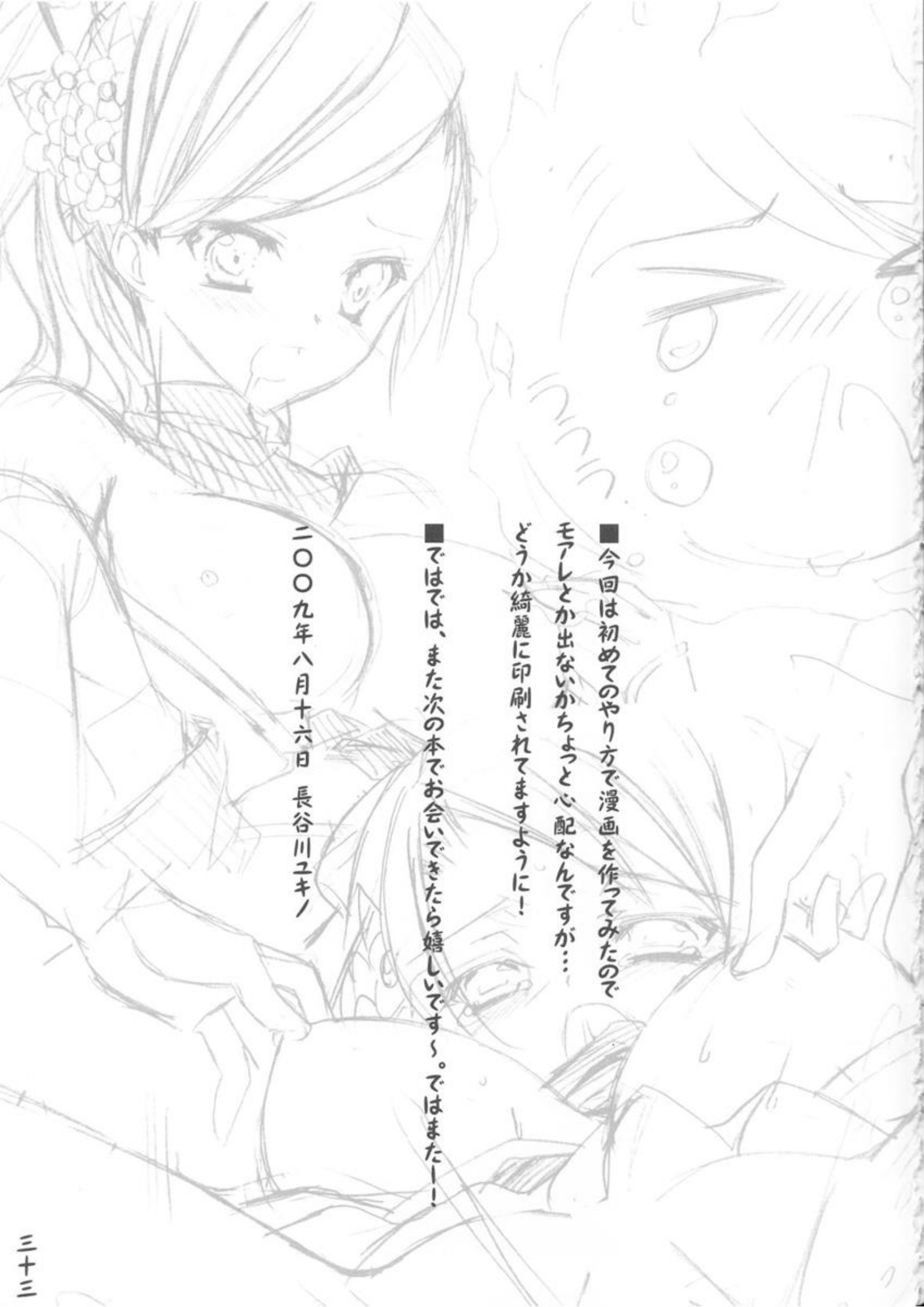
あとは食べ物！相変わらず、芸が細かい。

水饅頭だかがちゃんと食べちぎった形になってたのとか、本当細かいっつ

■ゲームのバランスもレベル上げればなんとかなる感じで、

アクションはごり押し私にはとても嬉しい。笑
そういや、めずと凧忍者…には随分苦しめられました…


めずは特に、もう、怖いなの…。刃をすぐばきーんって折られてしまうので、
地獄ステージは見た目も怖いし、鬼も怖いし



■今回は初めてのやり方で漫画を作ってみたので
モアレとか出ないからちょっと心配なんですけど…
どうか綺麗に印刷されてますように！

■ではでは、また次の本でお会いできたら嬉しいですよ。ではまたー！

二〇〇九年八月十六日 長谷川ユキノ



■発行元■
氷結蜜柑

■発行者■
長谷川ユキノ

■発行日■
2009.08.16

■連絡先■
<http://yukisam.rusk.to/>

■Email■
yukiyuki@haseyuki.sakura.ne.jp

■印刷■
金沢印刷様

◎禁止事項◎

18歳未満の者の閲覧
無断転載
無断複製



龍夜恋語